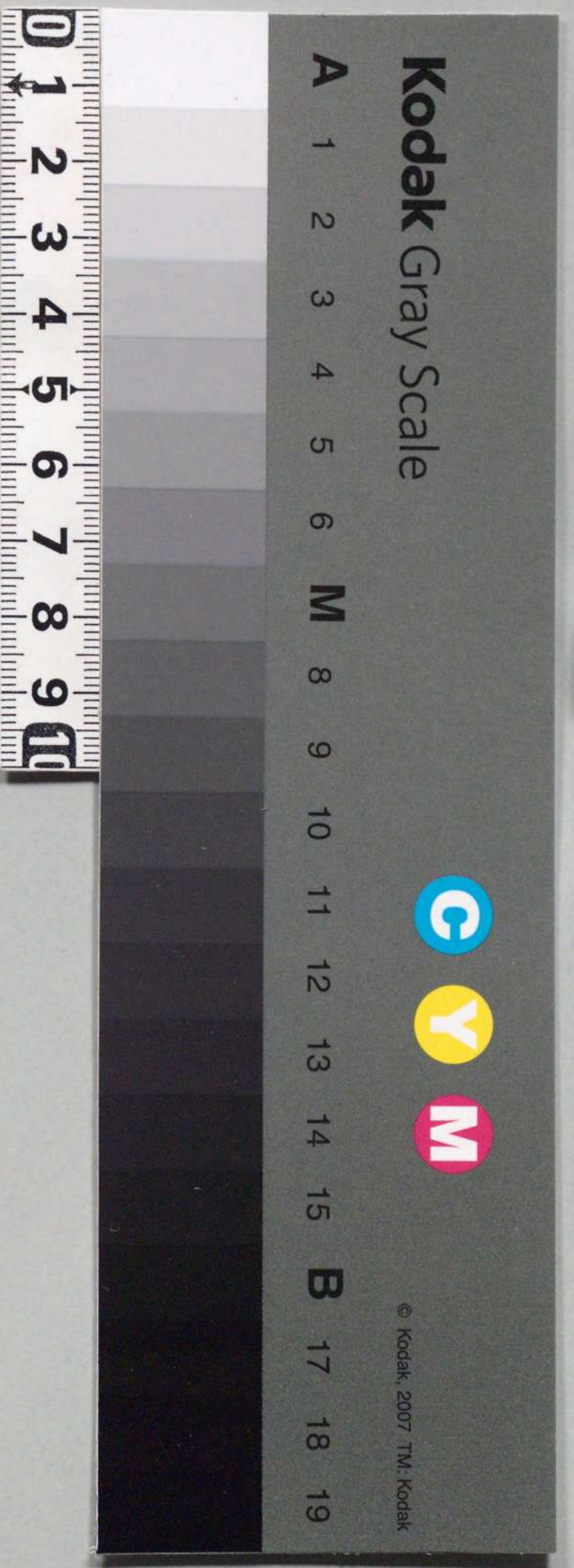
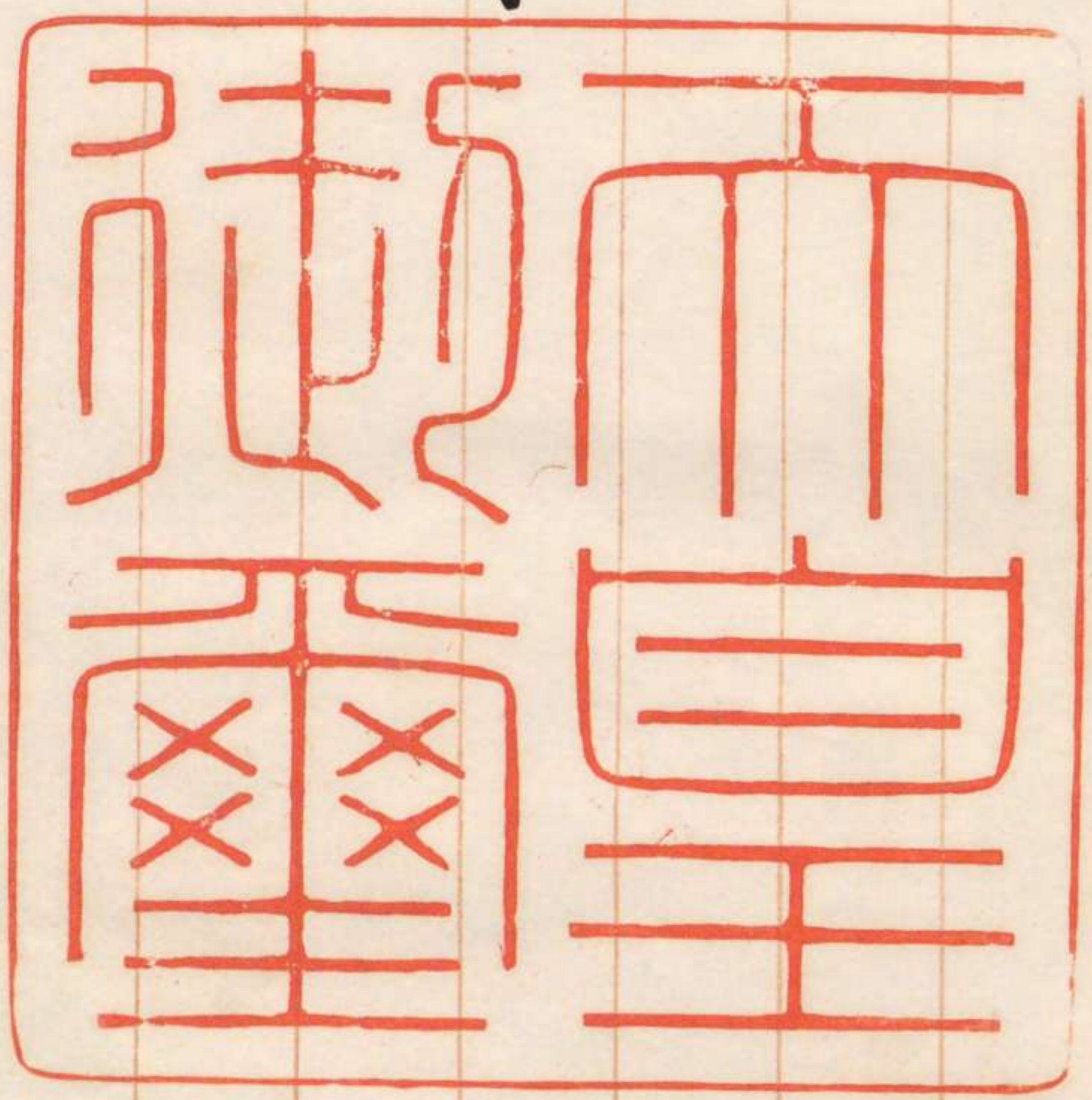


御筆 古手紙



朕陸軍軍隊檢閲條例ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

睦仁



明治廿一年八月二日

白
期

内閣総理大臣伯爵黒田清隆
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第六十號

陸軍軍隊檢閲條例

第一條 軍隊檢閲ハ軍隊ニ於テ軍紀ノ
張弛服務ノ勤惰教育ノ精粗及ヒ保育
ノ良否ヲ檢シ條例規則實施ノ度ヲ察
シ出戰整備ノ完否ヲ監シ軍備ヲシテ
壅塞礙滯ノ患ヒ勿ラシメニ力為メ閱
視檢實スルヲ謂フ而シテ之ヲ分テ特
命檢閲定期檢閲臨時檢閲ノ三トス

其一 特命檢閲

第二條 特命檢閱ハ監軍勅ヲ奉シ檢閱使トナリ一師管若クハ數師管ヲ巡回シ其管内ニ在ル軍隊ヲ閱視檢實スルヲ謂フ

第三條 檢閱使ノ屬員トシテ監軍部參謀長又ハ同參謀一人各兵科佐尉官三人及ヒ書記二人ヲ附シテ檢閱ノ事務ニ眼セシム

第四條 檢閱使各衛戍地ニ到着スルトキハ其地所在ノ府縣知事警視總監大

審院長

及ヒ檢

第五條

檢

使事長始審裁判所長行問ヲ受ルモノトス

ヲ其部ノ長

官ニ訓示スヘシ

第六條

檢

使使務ヲ終レハ其實況ヲ

奏上復命スヘシ

其二

定期檢閱

第七條

定

檢閱ハ近衛都督師團長每

年諸兵科教育期ノ終ニ於テ部下各隊

ヲ閱視檢實スルヲ謂フ



第二條 特命檢閱ハ監軍勅ヲ奉シ檢閱使トナリ一師管若クハ數師管ヲ巡回シ其管内ニ在ル軍隊ヲ閱視檢實スルヲ謂フ

第三條 檢閱使ハ屬員トシテ監軍部參謀長又ハ同部參謀一人各兵科佐尉官三人及ヒ書記一人ヲ附シテ檢閱ノ事務ニ眼セシム

第四條 檢閱使ハ可成地ニ到着スルトキハ其ハ縣知事警視總監大



審院長控訴院長檢事長始審裁判所長及ヒ檢事^{上席}ノ存問ヲ受ルモノトス
第五條 檢閱使ハ閱視ノ事ニ就キ意見ヲ其部ノ長官ニ訓示スヘシ
第六條 檢閱使使務ヲ終レハ其實況ヲ奏上復命スヘシ

其二 定期檢閱

第七條 定期檢閱ハ近衛都督師團長毎年諸兵科教育期ノ終ニ於テ部下各隊ヲ閱視檢實スルヲ謂フ

第八條 近衛都督師團長ハ閱視ノ事ニ就キ意見ヲ各隊長ニ訓示スヘシ而シテ特科兵隊ノ隊長ニ訓示シタルトキハ同時ニ之ヲ當該兵監ニ告知スルモノトス

第九條 近衛都督師團長檢閲ヲ終レハ監軍ヲ經テ其實況ヲ奏上スヘシ

其三 臨時檢閲

第十條 臨時檢閲ハ騎砲工輜重兵監臨時一師管若クハ數師管ヲ巡回シ其統

監スル聯(大)隊ヲ閱視檢實スルヲ謂フ

第十一條 各兵監ハ閱視ノ事ニ就キ意見ヲ各隊長ニ訓示スヘシ然ルトキハ同時ニ之ヲ近衛都督師團長ニ告示スルモノトス

第十二條 各兵監檢閲ヲ終レハ其實況ヲ監軍ニ報告スヘシ

